

# 曙 光



裏磐梯秋元湖にて撮影

吾妻 克美 (写真部運営委員)



公益社団法人  
宮城県芸術協会  
(郵便番号 980-0802)  
仙台市青葉区二日町16-1  
二日町東急ビル5-B  
電話 (022) 261-7055  
FAX (022) 214-5184  
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp  
発行者 大場 尚文

昭和 40 年 1 月創刊された「はなやま」の題号は、芸術協会の創設が、昭和 39 年 5 月 9 日に宮城県花山村（現栗原市花山）の湖畔亭で開かれた会合で決まったことにちなんで付けられました。

単独部門では創出できない豊かで変化に富んだ重層的色合いを顕在化させることができました。オープンングイベントでは満場の観衆と結び合い、表現者、鑑賞者という関係を越えて、芸

術の素晴らしき、楽しさを共有するといった芸術祭の新たな境地を切り開き、高評を得ました。今年も会員の皆様と共に、こうした心躍る魅力的な活動を展開して行きたいものです。

の成果として、挑みました。その成果として、単独部門では創出できない豊かで変化に富んだ重層的色合いを顕在化させることができました。オープンングイベントでは満場の観衆と結び合い、表現者、鑑賞者という関係を越えて、芸

念いたします。昨年、第 54 回宮城県芸術祭では、初めて共通テーマを設定し「結い」というテーマのもとで「芸術文化に何ができるか」に挑みました。その成果として、単独部門では創出できない豊かで変化に富んだ重層的色合いを顕在化させることができました。オープンングイベントでは満場の観衆と結び合い、表現者、鑑賞者という関係を越えて、芸



## 混迷の時代こそ 芸術の力

宮城県芸術協会理事長  
大場 尚文

昨年、新聞、テレビを見るにつけ、世界中で寛容の精神が後退し、民族主義や過激思想の台頭による差別、対立、分断が進んで、政治の混迷や価値観の揺らぎが顕著になってきたように感じられてなりません。

こうした状況下でこそ、芸術文化の果たす役割が大きくなるのだと思います。宮城県芸術協会

明けておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、つつがなく輝かしい新年を迎えられたことと存じます。今年も会員の皆様と共に、こうした心躍る魅力的な活動を展開して行きたいものです。

術の素晴らしき、楽しさを共有するといった芸術祭の新たな境地を切り開き、高評を得ました。今年も会員の皆様と共に、こうした心躍る魅力的な活動を展開して行きたいものです。

# 受賞者ら87人表彰

## 第54回宮城県芸術祭表彰式

平成29年9月17日のガラコンサートを皮切りに開幕した第54回宮城県芸術祭は、各事業が順調に進捗し、11月14日、ホテルメトロポリタン仙台で表彰式が行われた。式には各賞の受賞者をはじめ、来賓、芸術祭関係者など269人が参加した。

## 洋楽の演奏で華やかに祝宴

開会にあたって、芸術祭会長の大場尚文宮城県芸術協合理事長があいさつ。「芸術祭の初めての試みとして共通テーマを設定（今年のテーマは「結び」し、各部門が互いに補完と協力しあうことで、豊かで変化に富んだ色合いを顕在化できた」と述べた。引き続き、主催団体を代表して、芸術祭名誉会長・村井嘉浩

祝宴では、受賞者への祝意を込めて、洋楽部会員によるクラシック音楽の演奏があった。演奏したのは、櫻井希（フルート）、小田島航太（サクソフォーン）、門脇麻美（ピアノ）の3人で、曲目はパッハ「主よ、人の望みよ、喜びよ」、モーツァ

第54回宮城県芸術祭来場者数

事業名	入場者数
開会式	80
華道展	2,716
書道展	4,345
工芸展	2,457
写真展・写真公募展	2,994
絵画展（公募の部）	2,198
彫刻展・彫刻公募展	2,198
絵画展（会員展）	9,578
ピアノコンクールガラコンサート	364
文学散歩	31
茶会	3,719
長唄演奏会	198
文芸祭	137
音楽会	582
表彰式	269

参加行事

事業名	入場者数
(公社)日本舞踊協会宮城県支部第32回各流舞踊公演	1,142
第61回仙台三曲協会定期演奏会	420
第48回洋舞公演	850



洋楽部会員によるアンサンブルの演奏

## 桜井理事など5会員が受賞 ～県文化の日表彰～

宮城県は、地方自治、産業、教育、民生、その他の各分野で多年にわたり県勢の進展、県民福祉の増進、芸術文化の向上等に寄与した個人や団体を毎年文化の日前後に表彰している。平成29年は10月31日に東京エレクトロニクスホール宮城で表彰式が行われた。当協会からは、絵画部の桜井忠彦理事（洋画）、書道部の嵯峨大拙参事、華道部の平崇月会員（龍生派）、邦楽部の佐藤

阿部翠枝・岩佐清芳（草月流）、高屋一律（本原遠州流）  
 【洋楽部】細湖誠一  
 【邦楽部】浅野繡葉・大友佐美好（三曲）、杵家弥鈴（長唄）  
 【茶道部】千葉宗桂（表千家）、上田宗芳・細川宗廷（裏千家）、佐々木純芳（煎茶道三彩流）、白木岳斎（石州清水流）、原田宗昌（宗偏流）、鈴木南菊（織田流煎茶道）、郡司晋恵（玉川遠州流）  
 【華道部】伊澤光和（小原流）、  
 皖山理事（三曲）、茶道部の渡邊晋祥運営委員（玉川遠州流）の5氏が、教育文化功労の分野で村井嘉浩宮城県知事から表彰された。

◇新入会員  
 【華道部】池坊・平間翠香（香代子）  
 【仙台市青葉区【洋楽部】】  
 小山和彦  
 【仙台市青葉区【邦楽部】】  
 三曲・関野（長栄）由美子  
 【岩沼市、谷内隴盟（隆司）】  
 仙台市太白区、長唄・杵家七敬（高橋敬子）  
 【白石市、渡邊楓】  
 大和町【舞踊部】日舞・水木歌穂（氏家園子）  
 【登米市【茶道部】】武者小路千家・中野妙利（由利子）  
 仙台市太白区、廣川妙節（節子）  
 【仙台市太白区

## 功績者表彰は16人

表彰式では、芸術協会の発展に寄与した会員への功績者表彰も行われた。表彰を受けたのは、華道部4人、洋楽部1人、邦楽部3人、茶道部8人の16人で、大場理事長から表彰状と記念品が贈られた。受賞者は次のとおり（敬称略）。

阿部翠枝・岩佐清芳（草月流）、高屋一律（本原遠州流）  
 【洋楽部】細湖誠一  
 【邦楽部】浅野繡葉・大友佐美好（三曲）、杵家弥鈴（長唄）  
 【茶道部】千葉宗桂（表千家）、上田宗芳・細川宗廷（裏千家）、佐々木純芳（煎茶道三彩流）、白木岳斎（石州清水流）、原田宗昌（宗偏流）、鈴木南菊（織田流煎茶道）、郡司晋恵（玉川遠州流）

# 地域文化功労者文科大臣表彰 大泉勉氏受賞



平成29年度の地域文化功労者文部科学大臣表彰で、当協会から大泉勉参事（洋楽部）が受賞した。「永年にわたり、仙台フィルハーモニー管弦楽団評議員等を務め、地域文化の振興に貢献している」ことが評価された。

大泉参事は、東北大学教育学部音楽科卒で、在学中に東京芸術大学に内地留学。指揮を渡邊暁雄、福井文彦の両氏に師事した。

これまで、ピアノリサイタルの開催をはじめ、仙台少年少女合唱隊（現NHK仙台少年少女合唱隊）の指揮者を長く務めるなど、数多くの演奏会の指揮者、伴奏者として活躍。

現在は宮城教育大学名誉教授、仙台日伊協会会長、日本ピアノ教育連盟東北支部名誉支部長、仙台ジュニアオーケストラ副団長など。

昭和56年に宮城県芸術選奨を受賞。ほかに仙台市政功労者（平成13年）、NHK東北ふるさと賞（同22年）も受賞している。

1934年、仙台市生まれ。

## 理事候補者の各部門推薦枠 来年度から上限2名に

第3回  
理事会

平成29年12月8日開催の今年度第3回理事会では「理事候補者数の配分について」が審議され、来年度の役員改選から、各部門からの理事候補者推薦枠の上限を2名とすることが決まった。平成30年度は理事・監事の改選期で、法人運営規程により、

の正会員の在籍数を基本にす

新しい年を迎え、気持ちがいき締まる。まもなく平成から新しい年号に代わると聞くと、しっかりと生きよとの想いは強くなる。

正月には、多くの家庭で、おせち料理を食べる。そこには色鮮やかな朱色の立派（？）なエビを目にする。普通エビ料理は頭を落とすが、おせちでは頭を残す。昔から、

その立派な長いひげを老人にたとえたことから「海老」と書く。長いひげや曲がった腰は、長生きの象徴として、エビに長寿の願いを込めた。それでおせちの食材としてよく用いられるようになったといわれる。

また、ある人はエビは死ぬまで脱皮を繰り返す。脱皮は成長すること、いつまでも成長し続けたいという願いからだともいう。

脱皮するには、エネルギーが必要だ。人間でいう栄養を肝臓

「脱皮する」となっている。従来のやり方では、候補者の配分がなく理事候補選出に全く関与できない部門が2部門出ており、正会員

### 新春随想

## 日々に新たななり

参事 田村 政晴（書道部）

に貯めねばならない。脱皮は命がけで、途中で命を落とすこともある。人間だって上手く脱皮・成長するには、日々しっかりと生活の積み重ねが問われる。

殷の湯王の盤銘に「苟に日に新たなり、日々に新たななり。又日に新たななり」の言葉を想う。今日という日は、天地開闢以来初めて訪れた日であり、そんな



だわるな、こ  
だわるな。人  
間本来住むと  
ころなし。ど  
こに住んでも  
心はひとつ。

大事な一日だから、有意義に生きなければならぬ一日だという意味だろう。湯王はこの言葉を、顔を洗う盤に彫り付け、毎朝自戒したという。私もこれを銘として毎朝、今日一日精一杯生きようと誓うのだが、凡人の悲しさ。寝るときは反省することばかりだ。

「日々に新たななり」の言葉の口にするとき、百七歳まで制作の権利の平等性の点から問題があるという意見があった。今回の改正により、これまで3名配分されていた絵画、書道、

茶道の各々が1名減となり、配分のなかった舞踊部と演劇部に合せて1名配分され、残り2名分は留保枠となる。

# 芸術祭絵画展受賞者作品展



第54回宮城県芸術祭絵画展受賞者作品展が、12月15日から21日まで、仙台市青葉区の東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）5階展示室で開催された。宮城県文化振興財団との共催。本会場での開催は今年で4回目となる。

会場には第54回宮城県芸術祭絵画展受賞者20名と絵画展公募の部の受賞者9名の作品が展示された。今回も各受賞者が芸術祭の受賞作と新作の2点ずつ出展、作品数は計58点となった。

高い評価を受けた受賞作と、それぞれが工夫を凝らした新作を並べて展示したことが好評を

## 定禅寺フォトコンテスト展

宮城県文化振興財団等と当協会の共催による第4回定禅寺フォトコンテスト展が、今年は12月5日から12日まで東京エレクトロンホール宮城で行われた。

本年も定禅寺通りで行われた祭やイベントの作品を募集、38名から112点の応募があった。入賞9点、入選55点選ばれ、初日に受賞者の表彰式が行われた。来場者は419名であった。



宮城県芸術協会賞を授与する大場理事長

得て、会期内に918名という開催以来最多の来場者に恵まれた。今後も県民に広く親しまれ

る作品展としての魅力的な展開を期待したい。

## 芸術祭の共通テーマ来年も

### 第2回部長会議で意見一致

本年度の第2回部長会議が12月1日に協会事務局の会議室で開催された。議事は2件で、議事1が第54回宮城県芸術祭について、議事2が芸術祭共通テーマの取り扱いについて。

議事1は第54回宮城県芸術祭実行委員会を兼ねており、事業担当の中塚仁執行理事が、芸術祭の進捗状況、これまで実施された各事業の期日、会場、出演者や出品点数、入場者数や表彰式の様子などについて報告した。その後各部からの報告が行われ、今回の芸術祭での創意工夫をこらした新しい取り組みや来年度に向けた事業の課題などの報告があった。

議事2は第1回部長会議からの継続協議事項で、事業担当の渡部勝彦執行理事が、各部に対して「今年度の共通テーマ」について「今後の共通テーマの在り方」についての報

告を求めた。各部の部長・副部長からは、「共通テーマは会員が対応しやすいようにもっと早い段階から周知すべきである」「オープニングイベントでの書の揮毫の見

せ方は改善が必要」などの反省点も出されたが、いずれの部も「共通テーマの設定は今後も継続したほうが良い」とする意見で一致した。

議事の取りまとめとして、渡部執行理事は「共通テーマはそれぞれが広義の解釈のもと、多面的にとらえ、あらゆるジャンルの部門から多様に表現される」ところに取り組みの意義がある。本日の各部からの報告や意見を次年度の事業に活かしていきたい」などと述べた。

## みやぎミュージックフェスタ

本年度は「みやぎミュージックフェスタ2017 inとみや」と題し、2月25日（日）に富谷市の成田公民館大ホールで開催される。当協会と富谷市、富谷市教育委員会、富谷市芸術協会、宮城県文化振興財団との共催。

当協会とカメイ美術館との9回目となる共催絵画展が、1月30日（火）～3月11日（日）の会期で、昨年から続く企画展「現運営委員等の『現在と過去』II期」と題し、仙台市青葉区のカメイ美術館で開かれる。

本企画展は芸術絵画部運営委員等が過去の作品と新作を一点ずつ展示し、作風の変遷を辿る企画として昨年も好評を得た。

2月17日（土）にギャラリートーク、3月3日（土）にギャラリーコンサートも開催する。

## カメイ美術館共催絵画展

# ~加賀百万石の城下町金沢~ 雪国の情景満喫

絵画部 船田 芳子

研修旅行



永平寺前で記念撮影

平成29年度研修旅行は、団長の大場尚文理事長以下12名が参加し、11月7日から9日まで、2泊3日の日程で行われました。一日目の昼頃、いよいよ金沢到着。金沢駅の通路の広さ、品格あるガラス張りアーチの天井に感激し、バスに乗りして永

ないのにはびっくりしました。二日目の最初は兼六園です。ガイドさんの面白可笑しい話術での案内で、雪吊りの風景、庭園の素晴らしさを満喫。次は江戸時代末期の町屋を復元した、ひがし茶屋街。木の温もりを感じながら、ゆつくりと散策を楽しみました。さらに金沢21世紀美術館を観覧。美術館を観覧。美術館を観覧。美術館を観覧。

平寺へと向いました。永平寺の杉の木立の中を進み、苔の美しさ、木立の枝の間から陽の光が紅葉の葉を照らし、七色の色彩が絵画の様。仏殿では自然に手を合わせ、お祈り致しました。続いて一乗谷朝倉資料館へ。戦国時代の城下町、復元された武家屋敷、当時使用された将棋の駒が現在のものほとんど違わ

下さった素敵な女性が、私と同名名だとのことで大賑いとなるハプニングもありました。三日目は、白米千枚田で大海原と千枚田のコラボレーションの珍しい情景を心に刻み、輪島朝市へ。漆器工房では丁寧な説明を聞き、漆の大切さを学びました。皆さんと和やかに旅行が出来た有意義な三日間でした。

## 小山喜三郎元理事長がご逝去

当協会第8代理事長として、平成18年(2006)から3期6年にわたり活躍された小山喜三郎名誉会員(絵画部)が、昨年11月18日に満83歳で逝去された。

理事長時代には、公益法人化への諸準備、韓国や中国との文化交流の推進、平成23年の東日本大震災への対応、芸協ホームページの立ち上げ、新事務所の取得と移転などに粉骨砕身され、芸協の発展に尽くされた。硬派な反面、いたずら好きで穏やかなお人柄は、分野を超えて多くの会員に愛された。

### 小山さんを偲んで

名誉会員・前理事長 早坂貞彦



名誉会員の小山喜三郎さんが11月18日、83歳で旅立されました。当日は寒く、元国体水泳選手の小山さんは、一風呂浴びようと湯に飛び込まれましたが、一息もつかず一気に天国に駆け昇られました。思うこともなしの昇天でしたが、志半ばでの事、口惜しくなりません。

小山さんは、私が東北大に入学した時の4年生で、先輩に優しく、細身で背の高いハンサムで、皆のあこがれの的でした。名家の一人っ子のほんぼんと

して、附属小学校・中学校・仙台二高を終えられ、学制改革最初のリーダーでした。卒業後は宮城県第一女子高等学校で40年の美術教諭を全うされました。画業六十年。教職にあっても筆を休めることなく、仙台では新現美術協会、東京ではモダンアート協会で抽象絵画による現代美術作家の道を貫かれました。



大邸との交流で歓談する小山元理事長(平成22年)

営委員、絵画部主任、評議員、理事、理事長として活躍され、芸協の発展に貢献されました。そのモットーとするところは、民主的に、仲良く、楽しく、広くで、小山さんのお人柄が色濃く滲み出たものでした。ロマンチストで、気持ちはいつも昭和初期に遊んでおられ、常に人を楽しませるためのいたずらを企み、その天才でした。9月の芸術祭開会式には、にこやかなお姿を拝見しましたので、突然のご逝去に驚きました。もうお会い出来ないのかと思うと寂しさで一杯になります。戦後宮城の新しい芸術文化振興に一生を捧げられたことに深く感謝申しあげ、心からのご冥福をお祈りいたします。

### 第38回音楽コンクール

## 今年度からヴァイオリン部門も

第54回芸術祭事業として実施される第38回音楽コンクールが、本年度も日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）で開催される。

これまでのピアノ部門に今年度新たにヴァイオリン部門が加わり、一層の充実が図られた。

期日は両部門共に予選が2月18日(日)、本選は3月18日(日)。予選、本選の審査を経て、級ごとに最優秀賞、優秀賞、奨励賞、作曲者賞や宮城県芸術協会賞などの特別賞が授与される。

また副賞として、審査員から推薦された受賞者は、「芸術祭



ガラコンサートで演奏する昨年の受賞者

音楽会」や「受賞者によるガラコンサート」に出演できる。

申し込みは1月6日に締め切られ、応募者はピアノ部門138人、ヴァイオリン部門65人の合計203人で、昨年に比べて87人と大幅に増えた。

### 事務局日誌

#### 会務報告

【第2回部長会議】12月1日

○第54回宮城県芸術祭について（宮城県芸術祭実行委員会）

○芸術祭共通テーマの取り扱いについて

【第3回理事会】12月8日

○平成30年度事業計画及び予算編成の方針について

○新入会員（正会員）の承認について

○理事候補者数の配分について

後援

☆佐々木捷子絵画展

11月18日～26日

美里町近代文学館

☆絵画特別展「生誕110年村村悖展

「修練の軌跡」  
11月21日～1月28日  
カメイ美術館  
☆美里町「河北展」  
12月2日～10日  
美里町近代文学館

☆早坂美名子フェルトセンスアート展

12月14日～19日  
美里町近代文学館

☆書芸苑誌80号記念宮城野書人会  
展併催学生書道展

12月22日～26日

せんだいメディアアテーク

☆伊達政宗公生誕400年記念天の赦す  
ところ他「新春ロードショー」

1月6日～10日

桜井薬局セントラルホール

☆東北書道新春選抜展

1月12日～17日

せんだいメディアアテーク

☆第8回翔雲書展

1月26日～29日

せんだいメディアアテーク

☆第13回Dance Competition in  
Sendai 2018

2月10日～11日

多賀城市文化センター

☆今野深泉傘寿展（併催社中選抜  
展）

2月20日～24日

塩竈市杉村悖美術館

☆第77回春のいけばな展

3月17日～20日  
せんだいメディアアテーク

☆一般社団法人日本マンドリン連  
盟創立50周年記念演奏会

3月25日  
多賀城市文化センター

☆第81回河北美術展

4月26日～5月8日

藤崎本館7階催事場他

会員の入賞・入選など

◇第26回河北工芸展

〈革〉▽仙台市長賞▽佐藤美喜(陶  
磁)▽仙台市教育委員会賞▽木村

八百子▽NHK仙台放送局長賞▽  
中山晴代

◇第64回日本伝統工芸展

〈陶芸〉▽入選▽市岡泰、岸上まみ  
子、橋本昌彦(諸工芸)▽入選▽

高橋通子、鍋田尚男、種澤有希子

◇第33回河北写真展

〈東北の暮らし〉▽準特選▽北  
村卓▽オリンパス賞▽山本かつい

〈東北の風景〉▽秋田県知事賞▽  
佐藤崇

◇第51回女流陶芸展

▽入選▽新藤陸子

◇改組新第四回日本美術展覧会

〈第1科日本画〉▽入選▽石川浩  
典山和子、七宮牧子、佐々木志津  
子、及川尚子

受贈書

「宮城の現代詩2017」(宮城県詩  
人会)、「樹下のまつりⅡ 雫石隆  
子川柳句集」(雫石隆子)

謹弔

工芸部(染織) 安倍まゆみ 殿

文芸部(短歌) 松倉正子 殿  
10月12日  
写真部 大内常正 殿  
10月25日  
絵画部(洋画) 小山喜三郎 殿  
11月2日  
11月18日

### けやきの譜

平成30年の幕が開いた。来年春には、平成天皇のご退位と元号が予定されているので、今年が「平成の芸術祭最後の年」となる。63年余りを刻んだ「昭和」に比べると、あまりに短く、あつという間に過ぎたような気もするが、気持ちを新たに「最後」を見届け、次なる新しい時代に向きあうことにしたいものだ、と思う▼芸術協会の活動自体は、元号が変わっても、それほどの変化はないはずだ。宮城県芸術祭の開催、芸術文化の振興に関する諸事業、国内・国外との芸術文化の交流、それに会員のための事業を加えた四本柱での運営に、変わりはない。大いなるマンネリで構わない側面もあるのだが、それぞれに新たな変化を加えることも望まれよう▼今年はおリンピック、パラリンピック・イヤーでもある。マスコミでは、結果が分かりやすいスポーツの世界に目が向けられがちだが、どこい芸術分野も頑張っているんだ、というところも人々に見せてやりたいものだ、と思えてならない。新年早々のたわ言である。(恂)